

電動車いすを乗りこなそう

名前

電動車いすを乗りこなすためには

さん自身の安全を守ること

まわりの人の安全を守ること

がかかせません。

そのためには守らなければならないルールがあります。

ルールをしっかり守って、楽しい生活を送りましょう。

◆ルールについている数字は

守るべきことの順番ではありません。どれも大事なことです。すべて守ることができてはじめて安全運転ができます。



《 ルール1 》 ① 出発するとき ② 止まるとき

1-① 出発するときは必ず声をかけよう

「前に 動くよ」

「後ろに 動くよ」「バックするよ」

*動く方向を必ず伝えましょう。

1-② 止まるときは必ず声をかけよう

「止まるよ！」

《 ルール2 》 ①人の横を通るとき

②後ろから通りぬけるとき

2-①② 声をかけてから通ろう

「右がわを通るよ」

「後ろから 左がわを通るよ」

*どこから、どうするのか必ず伝えましょう。

《 ルール3 》 まがるとき

まがる方向を必ず声をかけよう

「右にまがるよ」

「左にまがるよ」

*どこから、どうするのか必ず伝えましょう。

いつも早いスピードで通る人がいると思って
いましょう。

*場所におうじて、ウィンカーも出そう。

《 ルール4 》 道のどこを通るか

4-① ろうか 真ん中

*両側にドアがある場合が多くあります。真ん中を通ることで、ドアから出入りする人とのせっしょくをふせぎましょう。

また、真ん中を通ることで、みんなから見てもらえるようにしましょう。

4-② 道路 左側。

*車いすは「車両」です。左側を通ります。

《 ルール5 》 場に応じたスピード

5-① ろうか **1-2**

*今まわりに人がいなくても、とつぜん
教室などから出てくる場合があります。
自分で勝手に速度を変えてはいけません。

5-② 教室 **1-1**

*せまい中にいるたくさんの友だちが、予想外
の動きをします。また、机やロッカー、図工
で作った大切な作品などが置かれています。
しんちょうに、ゆっくり運転しなくてはいけ
ません。

5-③ 体育館・校庭など **1-2**

*広いところでは速く動きたくなる気持ちはよ
く分かります。じょうきょうをよく考えて、
先生に相談してください。でも、相談するま
では勝手に速度を変えてはいけません。

《 ルール6 》 姿勢

6-① 姿勢をととのえてから運転しよう

*介助してくれる人に、具体的に曲がっている場所などを伝えましょう。「ちょっと変かも」というしょうたいで運転していると危険です。

6-② ベルトを確認しよう

*ベルトのしめ忘れはないか、ゆるんだりしていないかを確認しましょう。

《 ルール7 》 つかれ

8-① からだをほぐそう

*電動車いすの運転は毎日です。明日も安全運転するために、降りたらしっかり身体をほぐしましょう。

8-② つかれたら休もう・お願いしよう

*無理はきんもつです。つかれたら休みましょう。また、手動にしておしてもらうことも大事です。

